

生麦中だより

令和4年(2022) 11・12月【7号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamug>

「脳の中での $y=ax$ 」～行動を見直すために～

校長 山口 毅

11月8日は「皆既月食」(満月全体が地球の影の中に入り込んで月の表面に太陽光が当たらなくなる)が観測できました。今回の月食は観測しやすい時間帯で、皆既の時間も長く好条件だったようです。また、月食の最中に起こる天王星食(望遠鏡が必要)も観察できたと聞いています。夜空を見上げていた皆さんも多かったのではないのでしょうか。

さて、今回の学校だより後半で本校の「全国学力・学習状況調査結果概要」を示しました。数学と理科で正答率が5割を切るのは、多くの課題があるととらえています。特に理科では、観察や実験を通して科学的に探求する力を測る問題で低さが目立っています。(これは本校だけでなく全国的な傾向)

「どうしてなのだろう、なぜ」と簡単には分析できませんが、「じっくりと観察する」探求心を深めていく難しさを改めて感じています。

教科指導とは直接関係ありませんが、報道でもあるような「ファスト映画(映画を短く編集した映画のこと)」がもてはやされ、それが利用される今の時代にあって、手でタブレットを活用し検索すれば、実験の結果がわかってしまう、これでは探求心が削がれてしまうかもしれません。

そこで、探求心について、表題の $y=ax$ を使って説明してみましょう・・・

例えば、道を歩いている、足元に虫がはっていたとします。私なら立ち止まって、何なのか確認したくなりますが、興味がない人は完全に見過ごしてしまうでしょう。目にも止まらないと思います。しかし、100円硬貨が落ちていたら、その人は立ち止まるかもしれません。宝くじのような紙が落ちていたら、拾うかもしれません。

眼から虫を見た情報が x この情報を脳の中で回し、動かして取った行動が y です。立ち止まったり、見過ごしたりすることが y となります。その時、脳の中で情報を回し動かしたのが a です。

何らかの情報 x に脳の中で a という係数をかけて出てきた結果、反応が y となります。

これが脳内での $y=ax$ ということです。 a という係数は、現実の重みとも言えます。人によって、見過ごしたり、立ち止まったりと、その重さが異なるのです。

➡(うまく理解できない人は、数学の先生に確認してください。)

この係数 a がプラスかマイナスか それとも「ゼロ」か、でその行動への影響や探求心が変わってくると思うのです。ひとつ言えることは、常に係数 a が「0」では現実問題として始末が悪いことです。感動や疑問といった動機づけ、皆さんの興味・関心を掻き立て、時間をかけてでも探求したいと思わせる係数「 a 」を活動の中で身に付けるために、今後も皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

イギリスのことわざで、「You can take a horse to the water, but you can't make him drink.」(馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない)

馬が水を飲むかどうかは馬次第なので、人は他人に対して機会を与えることはできるが、それを実行するかどうかは本人のやる気次第であるという意味です。このことわざは、やる気という a について伝えているものだと思います。

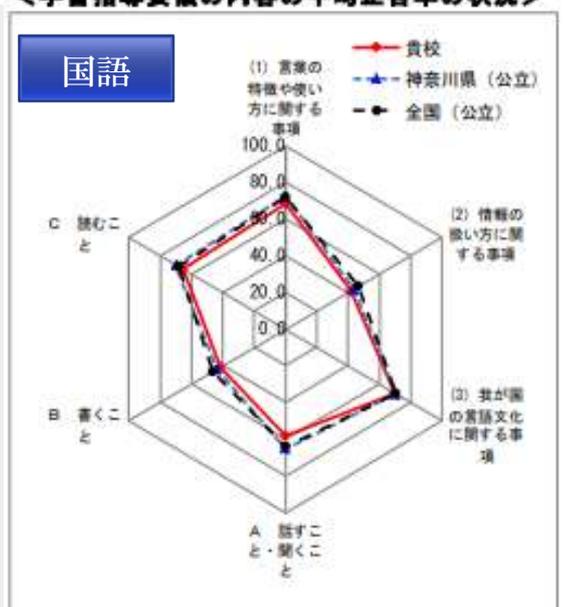
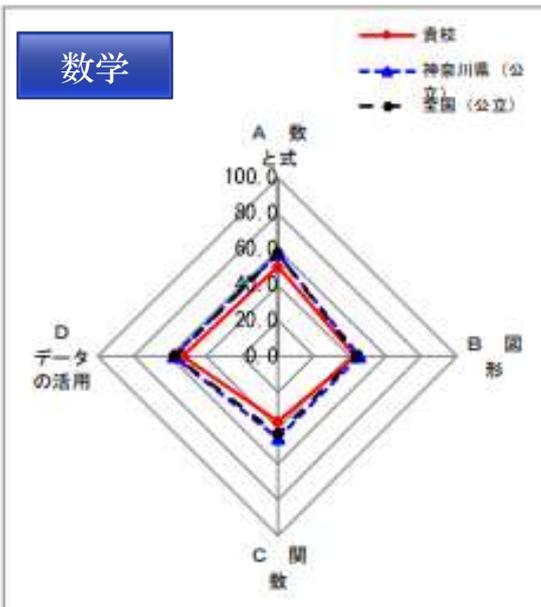
少し考えてみましょう。「 a 」を常に「0ゼロ」にしなければ、行動を変えることが可能だと思います。

全国学力・学習状況調査・結果概要

集計結果

国語		対象生徒数	横浜市立生妻中学校	神奈川県（公立）	全国（公立）
			233	61,393	891,820
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴校	神奈川県（公立）	全国（公立）
全体		14	66	69	69.0
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	68.5	72.3	72.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	41.6	43.7	46.5
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	69.7	70.5	70.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	58.1	65.1	63.9
		B 書くこと	41.6	43.7	46.5
		C 読むこと	65.5	69.9	67.9
評価の観点	知識・技能	10	66.1	68.9	69.0
	思考・判断・表現	6	57.8	63.1	62.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	72.4	74.5	73.7
	短答式	5	66.7	70.0	70.3
	記述式	3	51.5	57.7	57.4

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



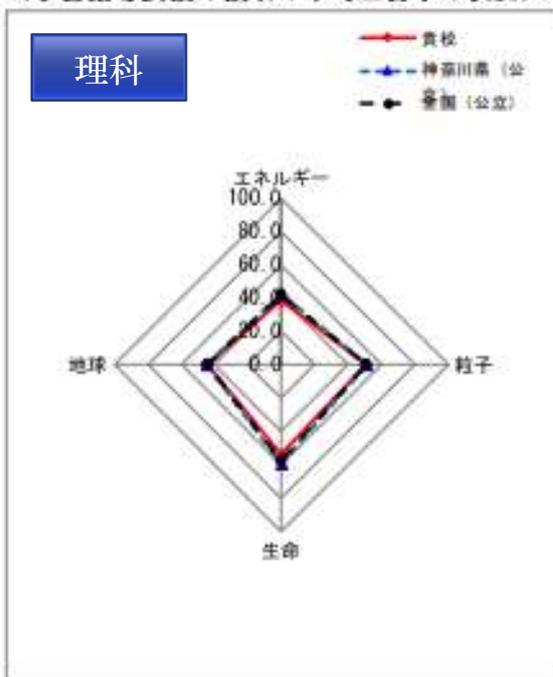
集計結果

数学		対象生徒数	横浜市立生妻中学校	神奈川県（公立）	全国（公立）
			234	61,393	891,913
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴校	神奈川県（公立）	全国（公立）
全体		14	46	53	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	50.3	57.9	57.4
	B 図形	3	43.4	45.6	43.6
	C 関数	3	36.5	46.0	43.6
	D データの活用	3	52.7	57.8	57.1
評価の観点	知識・技能	9	54.7	61.1	59.9
	思考・判断・表現	5	31.5	37.5	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	49.6	54.2	52.6
	短答式	5	58.8	66.7	65.7
	記述式	5	31.5	37.5	36.2

集計結果

理科	対象生徒数	横浜市立生麦中学校			神奈川県 (公立)	全国 (公立)
		233			61,439	892,585
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)			
			貴校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
全体		21	47	50	49.3	
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	38.6	42.4	41.9	
	「粒子」を柱とする領域	5	50.5	51.4	50.9	
	「生命」を柱とする領域	5	54.1	59.7	57.9	
	「地球」を柱とする領域	6	44.3	45.0	44.3	
評価の観点	知識・技能	7	44.8	46.5	46.1	
	思考・判断・表現	14	48.8	52.0	51.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	15	48.1	50.3	49.6	
	短答式	1	23.2	25.5	24.8	
	記述式	5	50.4	54.8	53.5	

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



3年 状況調査アンケートより

生活習慣が不規則

- ・起床時間は規則的であるが、就寝はばらつきが目立つ
- ・ゲームやスマホに費やす時間が長い(4時間以上が20%以上)
- ・スマホやPCの利用について、80%の生徒が家庭での約束を守っていると回答

自己肯定感・将来に対する見通しに課題

- ・自分が設定した目標を達成するために努力したり挑戦したりして、やり遂げた経験に課題
- ・進路選択や受験に対する不安を持つことに課題
- ・協調性や他者を思いやる気持ちに課題
- ・道徳的価値観を高めること、自立のための基礎力を身につけることが必要

学習には前向き、国・数・理ともに、正答率は全国平均よりやや低い

- ・2年次では、学校の学習に対して計画的、意欲的に取り組んでいる
- ・家庭学習の習慣化に課題 (基礎学力定着の課題)
- ・思考・判断・表現の観点からの出題正答率が低い傾向
- ・記述問題での課題(例:理科では、実験の計画を立てたり事象や実験結果から考察や仮説を導いたりする問題)
- ・ICT機器の活用について、指導の工夫改善が必要

11月10日 創立記念日



教育振興会より、創立記念品として、お米(新米2合)を頂きました。

生麦中学校は、皆様の温かさに支えられ、75周年を迎えることができました。

感謝申し上げます。

私たちの生麦中学校は、創立75周年を迎えます。
3年生(15歳)の皆さんの5倍の年月、ここ風早台に立ち続け、風雪に耐えてきました。昭和・平成・令和という3つの時代を経て、生麦・岸谷・寺尾という3つの地域からたくさんの生徒が通っています。同時に、それだけ多くの保護者や教職員、地域の想いを受け止めてきたことでしょう。
学校が歩んできた歴史に思いを巡らせ、ほんの少し、自分や世の中のことを考えてみてください。保護者に大切に育てられていること、熱心な先生に支えられていること、地域の皆様に応援いただいていることに気付くきっかけとなれば幸いです。

生麦中学校教育振興会 会長 塩田 賢一

生麦中学校は、保護者、地域の皆様に支えられ創立75周年を迎えることができました。
これまでの温かいご支援とご協力に心より感謝を申し上げます。
昭和・平成・令和と時代を越えて皆さんを見つめてきたこの生麦中学校と共に、これからも生き残るために必要な大切な力を身に付けるために、学びを深めていきましょう。学びによって物事の景色が変わることを期待します。
自分の行動がどのような結果へつながるかを考える「想像する力」と自分が行うべきことを最後までやり遂げる「やりとげる力」から構成される「自立のための基礎力」を意識して、この創立の日を過ごしてください。
今後も、人としての普遍性を忘れずに、行動することを心がけ、「互いを認め合い、幸せをつくることができる学校」を築いていきましょう。

生麦中学校 校長 山口 毅

私たち生麦中学校生徒会には、引き継がれている1冊のノートがあります。今年度はコロナ禍で過ごしてきた私たちがもっと繋がることを目指して挨拶運動と生徒会ラジオを試みました。実はこの2つはそのノートにあった先輩方の記録をヒンビに実現した活動なのです。また、今私たちは先輩方が考案したエンブレムを胸に学校生活を送っています。その制服も今年度より、ジェンダーレスを目指す方向で検討に入りました。創立75周年を迎えるにあたり、皆さんもこれまでの生麦中とこれからの生麦中に思いを馳せてみてください。沢山の方々の応援を背にタスキは私たちに託されました。生麦中のこれからの発展に向けて一人一人がつかないでいきましょう。

生麦中学校 生徒会長 佐伯 凛